

株主メモ

事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日まで
剰余金の配当基準日	5月31日 中間配当を行う場合は11月30日
定時株主総会	毎年8月
単元株式数	100株
株主名簿管理人 および特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) 土日祝祭日を除く平日9:00～17:00
同 連 絡 先	(郵送先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所 市場第一部
公 告 の 方 法	電子公告により行う http://www.yhchd.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行株式会社)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 過年度の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社本支店でお支払いいたします。
3. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせください。

WEBサイトのご案内



ヤマシタヘルスケアホールディングス
YAMASHITA HEALTH CARE HOLDINGS, INC.

地域のヘルスケアに貢献する

新着情報
IR情報

ヤマシタヘルスケアホールディングス 検索

ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社
ホームページ
<http://www.yhchd.co.jp/>



ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社

〒810-0004 福岡県福岡市中央区渡辺通3-6-15
NMF天神南ビル6階
TEL 092-726-8200



Business Report

第2期報告書

2018.6.1～2019.5.31



証券コード：9265

Contents

01	決算状況
03	セグメント情報
05	新中期経営計画進捗 コーポレート・ガバナンス体制
07	連結財務諸表
09	株主様インフォメーション 会社概要・株式状況

第2期を振り返って

わが国の医療機器業界では、償還価格改定に伴う販売価格引き下げ要求に加え、医療機関の経営改善に資する提案等への要求が高まっており、各企業は更なる価格競争力の強化、コスト削減による収益力の向上、顧客ニーズへの対応力強化が求められる状況となっております。

こうした状況の中、当社グループは営業体制強化による付加価値向上や、安定的供給を行う物流部門における効率化とコスト削減、市場拡大が進む医療IT分野におけるシステム構築支援、多様化する医療機関からのニーズに応えるべく、取り組んでまいりました。

その結果、2019年5月期の連結業績は、売上高615億円33百万円(前期比4.8%増)、営業利益5億22百万円(同39.9%増)となりました。

また、連結子会社ののれんの減損処理により、特別損失2億10百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益が1億44百万円(同34.5%減)となりました。

今後の展開

団塊世代の高齢化が進み、今後も増加が予測される医療費を抑制するために、政府は更なる医療構造改革を推し進めています。医療機関もまた、事業環境の変化が求められており、低侵襲治療による入院日数の短縮化、ICTシステムの導入による経費節減等、経営の効率化が喫緊の課題となり、その対応を迫られています。このため、医療機関は経営改善や効率化に貢献しうる、複合的なサービスの提供を求める状況となっております。

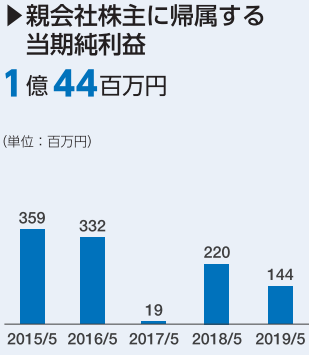
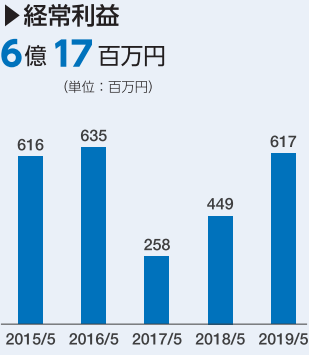
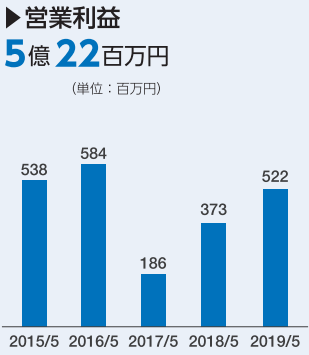
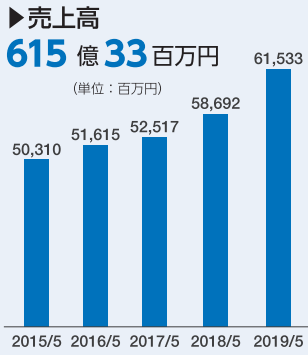
当社グループにとっても、このニーズにどのように向き合い、どれだけ医療に貢献できるかということが非常に重要な課題であると認識しております。このような状況の中、当社グループでは充実した物流網を活かしたSPD事業の推進、急性期病院の手術室・検査室向け高度医療機器や低侵襲治療機器等の提案、今後市場拡大が見込まれる医療IT分野では、電子カルテシステムの拡販を図るとともに、医療情報技師認定資格者を増員し、システム提案能力を向上させてまいります。また、新規事業として医療機関や在宅医療向けレンタルビジネスの取り組みを開始し、新たな市場開拓に挑戦いたします。

当社は、今後も中長期の持続的成長に向けた課題に継続的に取り組み企業価値を向上させてまいります。また、社会貢献度の高い医療・介護という事業領域における当社グループの使命を果たしていく所存でございます。株主のみならず皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役
執行役員社長 山下 尚登

連結業績ハイライト (注)2015年5月期から2017年5月期の数値については、山下医科器械(株)が開示した数値を参考として記載しています。



▶ 2020年5月期 連結業績予想 (単位：百万円)				
	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
通 期	62,581	397	453	267

※上記の業績予想は、2019年7月12日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

医療機器販売業

売上高610億92百万円

99.3%

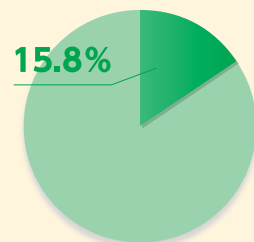


一般機器分野

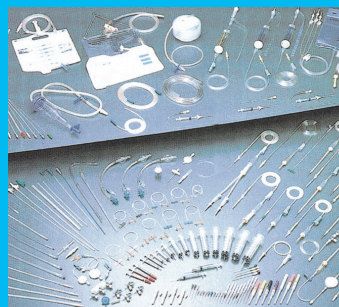
売上高 97億31百万円

●事業内容

一般機器分野は、汎用医療機器から高度医療機器まで幅広い製品を取り扱う、当社の中核事業分野です。急性期医療を中心とした様々な診療、検査、手術、救急といった院内各部署における総合的な販売活動を行っています。



■ 連結売上構成比

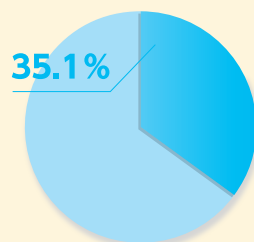


一般消耗品分野

売上高 216億23百万円

●事業内容

一般消耗品分野では、医療機関が使用する様々な汎用消耗品を取り扱っています。当分野において、当社グループは、SPD（院内物品管理システム）の提案を進め、お客様の物品管理業務等をサポートするとともに、コスト削減提案など、病院経営の効率化をサポートしています。



■ 連結売上構成比

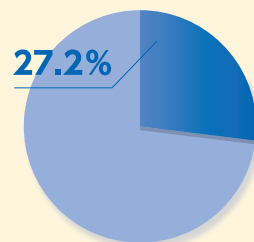


低侵襲治療分野

売上高 167億19百万円

●事業内容

低侵襲治療分野では、より専門性の高い治療技術が要求されます。当社グループでは、応用範囲が急速に拡大する内視鏡関連商品のほか、X線透視下での血管内治療、循環器治療に使用する様々な商品も取り扱っております。



■ 連結売上構成比



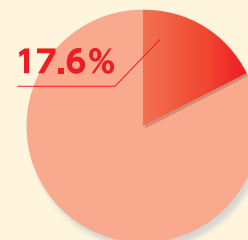
専門分野

売上高

108億30百万円

●事業内容

専門分野では、高度な専門知識をもったスタッフが、医療技術やお客様のニーズに応じて、整形外科関連製品、眼科機器、皮膚・形成関連機器、透析関連製品の提供を行うほか、より高精度で安全な臨床検査機器・システムの提供や快適な検査環境づくりのサポートを行っています。



■ 連結売上構成比



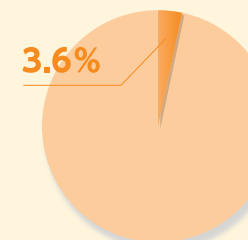
情報・サービス分野

売上高

21億87百万円

●事業内容

情報・サービス分野では、電子カルテ等の医療情報システムの販売はもちろん、ICTを活用した地域医療体制の構築支援を行うほか、医療ガス配管工事、医療機器のメンテナンスサービス、医療廃棄物収集運搬等の幅広いサービスを提供しております。また、クリニックの新規開業支援も手掛けています。



■ 連結売上構成比

医療機器製造・販売業

売上高3億74百万円

0.6%

●事業内容

主に整形外科領域の体内埋没材料（インプラント）の企画、製造委託、輸入、販売を行っており、その販売エリアは日本全国に及びます。日本人に適した各種インプラントの開発を進め、更なる手術手技の簡略化と適合性により患者のQOL向上に貢献いたします。



医療モール事業

売上高73百万円

0.1%

●事業内容

地域から求められる質の高い医療を受ける機会を創出するため、複数の医療施設をコーディネートして地域に提供する医療モールを運営しています。



●基本方針

継続的な収益構造の確立に向けた事業会社の構造改革、
及び企業買収等によるヘルスケア領域でのグループ力の向上を図る。

●4つの主要施策

(1) 継続可能な収益力の向上

お客様への高品質なサービスを維持しつつ、グループ全従業員が常に収益を意識し、継続的かつ着実に利益を生み出す構造改革の実現によって、収益力の向上に伴い、お客様への更なるサービス向上を図る。

(2) 将来を見据えた新たな収益源の創出

既存の事業にとらわれることなく、収益源の多角化を視野に入れつつ、事業及び顧客基盤の拡大により新たな収益源の創出を目論む。

(3) グループ経営管理機能の強化

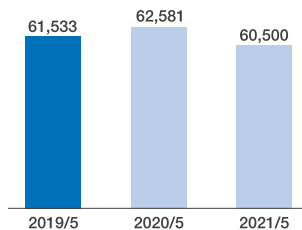
直接利益につながる事業活動以外の管理業務においても、業務の標準化及び効率化によって、継続的に無駄なコストを抑制または削減する取り組みを行うことで、利益創出スピードの加速を目論む。

(4) グループ価値の向上

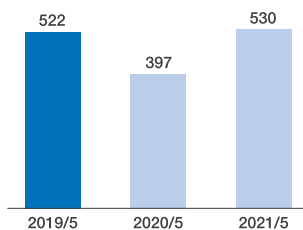
お客様をはじめとするすべてのステークホルダーの真の満足を高め、信頼いただけるようなグループを目指すため、事業活動を通じたサービスの提供のみならず、地域及び社会への貢献によって継続的にグループ価値の向上を図る。

●業績目標（百万円）

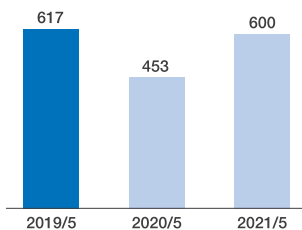
▶ 連結売上高



▶ 連結営業利益



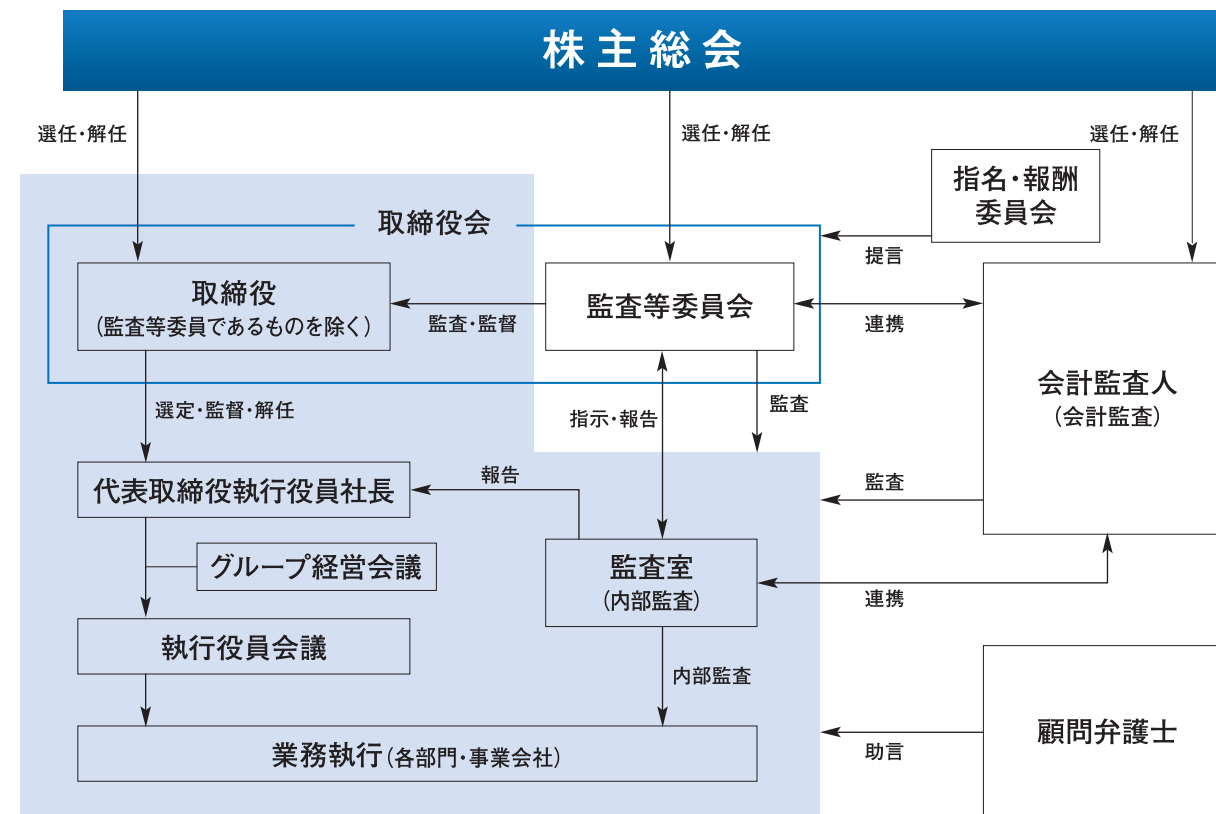
▶ 連結経常利益



当社は、社会をはじめとする様々なステークホルダーから信頼される企業であり続けるため、株主の権利を尊重し、経営の公平性・透明性を確保するとともに、株主に対する受託者責任を果たしてまいります。

当社の経営理念である「地域のヘルスケアに貢献する」を具現化すべく、コーポレート・ガバナンスを経営の重要課題と位置づけ、中長期の企業価値の向上を実現すべく的確な意思決定による、迅速な業務執行体制を構築するとともに、適正な業務執行の監督を行うために、「コーポレート・ガバナンス基本方針」を制定しております。この基本方針に基づき、独立社外取締役4名を含む取締役会や監査等委員会等有機的に機能し、健全で効率的な経営の推進を図ります。

▼コーポレート・ガバナンス体制模式図



連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当期末 (2019年5月31日現在)	前期末 (2018年5月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	15,137,619	15,318,924
固定資産	5,183,101	5,495,032
有形固定資産	3,667,762	3,781,698
無形固定資産	172,569	426,472
投資その他の資産	1,342,769	1,286,862
資産合計	20,320,721	20,813,957
(負債の部)		
流動負債	13,249,996	13,767,245
固定負債	698,367	773,645
負債合計	13,948,363	14,540,891
(純資産の部)		
株主資本	6,058,556	5,980,542
資本金	494,025	494,025
資本剰余金	627,796	627,796
利益剰余金	4,936,854	4,858,809
自己株式	△ 120	△ 88
その他の包括利益累計額合計	313,800	292,523
純資産合計	6,372,357	6,273,066
負債及び純資産合計	20,320,721	20,813,957

総資産と自己資本比率の推移

総資産は203億20百万円、自己資本比率は31.4%となりました。
安定的な財務基盤を維持しながら引き続き自己資本比率30%超を維持します。

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当期 (2018年6月1日から 2019年5月31日まで)	前期 (2017年6月1日から 2018年5月31日まで)
売上高	61,533,254	58,692,788
売上原価	55,027,808	52,380,446
売上総利益	6,505,446	6,312,341
販売費及び一般管理費合計	5,983,130	5,939,051
営業利益	522,316	373,290
営業外収益	103,868	96,483
営業外費用	8,972	20,259
経常利益	617,212	449,514
特別利益		15,441
特別損失	235,206	98,113
税金等調整前当期純利益	382,005	366,841
法人税等合計	237,583	145,770
当期純利益	144,422	221,071
非支配株主に帰属する当期純利益		462
親会社株主に帰属する当期純利益	144,422	220,608

特別損益では、連結子会社である株式会社トムスののれん減損処理により、特別損失2億10百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は1億44百万円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当期 (2018年6月1日から 2019年5月31日まで)	前期 (2017年6月1日から 2018年5月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△101,469	1,493,349
投資活動によるキャッシュ・フロー	49,963	△377,883
財務活動によるキャッシュ・フロー	△366,391	352,714
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△417,897	1,468,181
現金及び現金同等物の期首残高	2,753,423	1,285,242
現金及び現金同等物の期末残高	2,335,526	2,753,423

営業活動によるキャッシュ・フロー

主に減損損失2億10百万円および仕入債務の減少3億96百万円によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産取得による支出53百万円、有価証券の売却による収入1億28百万円によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

主に長期借入金の返済による支出3億円によるものです。

連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	494,025	627,796	4,858,809	△88	5,980,542	364,703	△72,179	292,523	—	6,273,066
当期変動額										
剰余金の配当			△66,376		△66,376					△66,376
親会社株主に帰属する当期純利益			144,422		144,422					144,422
自己株式の取得				△31	△31					△31
自己株式の処分					—					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						36,012	△14,735	21,277	—	21,277
当期変動額合計	—	—	78,045	△31	78,013	36,012	△14,735	21,277	—	99,291
当期末残高	494,025	627,796	4,936,854	△120	6,058,556	400,715	△86,914	313,800	—	6,372,357

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要政策として位置付けております。

配当方針

当社では、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定かつ継続的な配当を実施することを基本方針とし、連結配当性向30%を基準に、業績等を勘案して利益還元を行っております。

当期の期末配当につきましては、上記基本方針を踏まえ、1株当たり42円とさせていただきます。

来期(2020年5月期)の期末配当につきましては、上記基本方針および業績を勘案しながら検討する予定ですが、現時点におきましては、1株当たり32円を予想しております。

株主優待制度のご案内

株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、より多くの皆様に当社グループの事業に対するご理解を一層深めていただくこと、また、当社株式への投資の魅力を高め、中長期的な視点で当社株式を保有していただける株主様の増加を図ることを目的として株主優待制度を実施しています。

株主優待制度の内容

①対象となる株主様

毎年5月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された、1単元(100株)以上を保有する株主の皆様を対象に、年1回、株主優待を実施いたします。

②優待の内容

下記の保有株式数および継続保有期間に応じて、優待品(当社オリジナルクオカード)を贈呈いたします。

保有株式数	継続保有期間およびクオカード贈呈額		
	1年未満	1年以上3年未満※1,3	3年以上※2,3
100株～999株	500円相当	1,000円相当	1,500円相当
1,000株～1,999株	1,000円相当	2,000円相当	3,000円相当
2,000株以上	1,500円相当	3,000円相当	4,500円相当

※1 継続保有期間の「1年以上」とは、毎年5月31日現在の株主名簿に、同一株主番号にて連続して2回以上記載または記録されることとします。

※2 継続保有期間の「3年以上」とは、毎年5月31日現在の株主名簿に、同一株主番号にて連続して4回以上記載または記録されることとします。

※3 1年以上継続保有された株主様へのクオカード贈呈額は、当年5月31日の保有株式数を基準といたします。

③贈呈の時期

優待品は、株主名簿に記載または記録された株主様の登録ご住所に、8月下旬に郵送する予定です。



会社概要 (2019年5月31日現在)

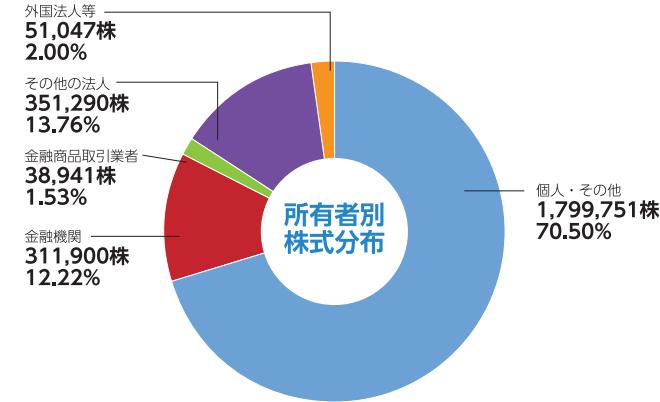
会社名	ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社 YAMASHITA HEALTH CARE HOLDINGS, INC.
設立	2017(平成29)年12月
資本金	494百万円
所在地	〒810-0004 福岡県福岡市中央区渡辺通3-6-15 NMF天神南ビル6階
従業員	552名(連結)
グループ会社	山下医科器械株式会社 株式会社イーピーメディック 株式会社トムス

役員 (2019年5月31日現在)

取締役	代表取締役	山下 尚登
	取締役	北野 幸文
	取締役	伊藤 秀憲
	取締役	嘉村 厚
	取締役常勤監査等委員(社外)	松尾 正剛
	取締役監査等委員(社外)	古閑 慎一郎
	取締役監査等委員(社外)	山下 俊夫

株式の状況 (2019年5月31日現在)

発行可能株式総数	8,000,000株
発行済株式の総数	2,553,000株
株主数	3,514名



大株主(上位10名) (2019年5月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
山下 尚登	348,400	13.64
株式会社ミック	272,952	10.69
山下 弘高	130,000	5.09
ヤマシタヘルスケアホールディングス社員持株会	105,232	4.12
山下 耕一	93,900	3.67
株式会社親和銀行	48,000	1.88
株式会社光通信	47,533	1.86
山下 浩	43,000	1.68
内藤 征吾	38,900	1.52
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	36,200	1.41